

令和2年度

# 福井県教員育成指標 教員研修計画概要

福井県教育委員会

福井県教育総合研究所

## 目 次

1	福井県教員育成指標	1
	(1) 福井県教員育成指標とその活用について	1
	(2) 福井県教員育成指標	3
2	令和2年度 福井県教員研修のポイント	8
3	基本研修・職務研修	10
	初任者研修	11
	2年目研修	20
	3年目研修	22
	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	24
	マネジメント研修	27
	新任教頭研修	28
	新任校長研修	29
	採用前研修	30
4	基本研修で実施する教科別研修および通信型研修	32
5	新しい教育課題への対応	34
6	教育庁各課等の研修	35
7	教員の自主的な研究活動への支援	41
8	主体的な研修受講とキャリア形成の促進	42
	福井県教員育成指標（全体版）	

# 1 福井県教員育成指標

## (1) 福井県教員育成指標とその活用について

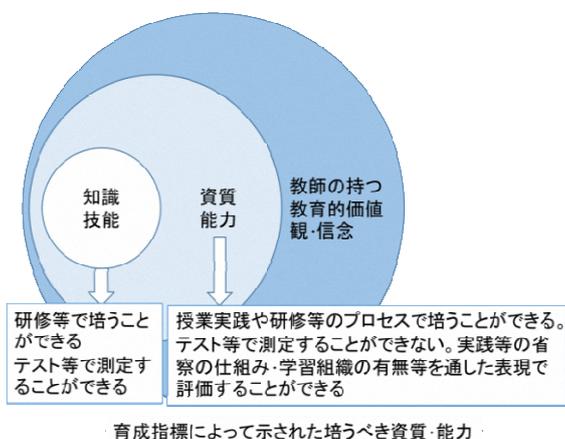
### 1 福井県教員育成指標の基本的な考え方

- ・知識基盤社会に突入し、産業構造が大きく変化する中で、これからの社会で求められる人材像を踏まえた教育の展開や、学校現場の諸課題への対応力を図るためには、教員は向上心を持ち、学び続けることが必要である。
- ・本県においては、教育行政の指針を定めた「教育に関する大綱」の基本理念として、「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり～子どもたちの『夢と希望』『ふくい愛』を育む教育の推進～」を掲げるとともに、子どもの個性を「引き出す教育」や好奇心や探究心を持って学びを自ら進んで「楽しむ教育」を推進している。また、本県が育成することを目指す人間像として次の三つの姿を示している。
  - 自らの個性を発揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人
  - 多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人
  - ふるさとや自然を愛し、いづどこにいても社会や地域に貢献する人
- ・教員については、採用時から教職生活全体を通じて「学び続ける人」であることを求めており、その具体的な姿は次の通りである。
  - 校種・教科等に関する専門的知識・実践的技能を持った人
  - 専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、自立した社会人としての良識や幅広い視野を持った人
  - 子どもたちはもとより、同僚や保護者、地域社会と円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応できる人
  - 教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持った人

- ・そこで県では、福井県教員育成指標（以下「指標」という。）を示し、これからの教員に求められる資質・能力を具体的に例示した。示した資質・能力は、研修等で直接習得することのできる知識・技能と、直接的な教示では習得が難しい、授業や研修のプロセスの中で培われる資質・能力とから構成されている。

- ・特に、直接的に教示することでは習得が難しい資質・能力の中には、新学習指導要領が示す「思考力・判断力・表現力」のように知識・技能の習得に関連して培われるものもあれば、「学びに向かう力」のように教員の持つ教育的な価値観や信念との連関の中で育まれるものもあり、その幅は広い。（上図参照）

#### 育成指標で培う資質・能力とは



- ・教員の資質・能力を育成するためには、研修の中で習得される最新の教育情報や知識・技能が、日々の実践の中で再確認されることが必要である。そのためには、それぞれの研修の中で、個々の実践に基づく振り返りの機会や、研修参加者が自分の実践と自らの教育的価値観等と突き合わせる機会を設けるとともに、研修相互の関係を明らかにした一体的な研修体系にすることが不可欠である。
- ・指標で示したステージは、採用時よりおよそ10年ごとを目安として設定している。まず、「福井県が求める採用時の姿」を示した上で、第1ステージは、「教員としての基礎を固める時期」、第2ステージは「中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する時期」、第3ステージを「経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする時期」として位置づけた。
- ・それぞれのステージでは、そのステージに応じて身に付け、発揮されるべき資質・能力がある。例えば、管理職になれば、若手を育成する能力、危機管理能力などは欠かせない能力であるが、このような能力は、管理職段階になって急に育成されるものではない。初任段階からの道のりの中で習得された知識・技能を基に、絶え間ない振り返りを繰り返すことで、資質・能力として身につくものである。

## 2 福井県教員育成指標の活用について

- ・今回示した指標を活用することによって、教員それぞれの適性や状況と、求められる資質・能力の関係を把握することができる。また、指標で示されたキャリアステージと資質・能力の関係を踏まえて、一人一人の教員が他者の実践事例も学ぶことで、他者の経験を自己の経験に意味づけて膨らませながら自らのPDCAサイクルを回すことができる。



- ・また、学校や研修における教員の資質・能力の育成のためのPDCAサイクルの成果は、絶えず育成指標の再構築に結びつかなければならない。そのためには県教育総合研究所を中心に、教員研修を行う各機関や各大学が、年度ごとに指標に基づいた研修成果の検証を行うとともに、その検証に基づいて次年度の教員研修計画の作成と育成指標の見直しを組織的に行うこととする。（上図参照）
- ・指標を一つの指針として、関係機関が連携して学校の教員集団を学び合う専門職集団にすることが、直接的に教示のできない教師の資質・能力を培う基盤となる。

(2) 福井県教員育成指標

## 福 井 県 教 員 育 成 指 標

### 福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を発揮し、  
人生を切り拓くために挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、  
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、いつでもどこにいても  
社会や地域に貢献する人

### 福 井 が 求 め る 教 師 像

校種・教科等に関する  
専門的知識・実践的技能  
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を  
身につけ、自立した社会人としての  
良識や幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、  
地域社会と円滑な人間関係を築き、  
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に  
燃え、常に学び続ける  
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする
素 養	教育的愛情 使命感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職への情熱</li> <li>・子どもに対する愛情</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意</li> <li>・教職に対する使命感、誇り、責任感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育を牽引する使命感、責任感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な運営を行う使命感、責任感</li> <li>・学校運営に積極的に参画する責任感</li> </ul>
	倫理観 人間性 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い人権意識</li> <li>・豊かな人間性、広い視野</li> <li>・社会人としての一般常識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観</li> <li>・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など)</li> <li>・謙虚な姿勢、法令の遵守、サービスの誠実かつ公正な遂行</li> </ul>		
	コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との意思の疎通と協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進</li> <li>・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通</li> </ul>		
	学び続ける力 探究心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの専門家としての学び続ける意欲</li> <li>・多様な社会体験への挑戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見-解決の努力-省察する力)</li> <li>・自主的な協働研究への積極的な参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の深化とキャリアアップ</li> <li>・学校内や専門分野における研究の牽引</li> <li>・若手教員の指導への積極的な関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの実践の深化と改善</li> <li>・学校内や専門分野の組織的な研究の運営</li> <li>・教職員の資質・能力を高める指導、助言</li> </ul>

資質・能力		ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
				教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする
指導力	学習指導	教科等の専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等を学ぶ意義の理解</li> <li>教科等で培う力の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上</li> <li>福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進</li> <li>幼・小・中・高を通じた学びの接続の視点での研究の推進</li> <li>子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究</li> </ul>		
		授業力	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等の基礎的な指導力</li> <li>主体的・対話的で深い学びへの理解</li> <li>探究的な学びの計画、立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等の特性や本質の理解</li> <li>ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業</li> <li>主体的・対話的で深い学びへの工夫</li> <li>指導と評価の一体化に基づく実践</li> <li>子どもの学びの見取りの意義と実践</li> <li>ICT機器の積極的な活用やプログラミングに関する学習活動の工夫</li> <li>校内研究への主体的な取り組み、積極的な授業公開の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省察をもとにした授業改善</li> <li>教科等の特性や本質の追究</li> <li>多様な授業形態の工夫</li> <li>主体的・対話的で深い学びの実現</li> <li>教科等横断的なカリキュラムデザイン</li> <li>校内研究の中核として授業実践を牽引</li> <li>若手教員への授業力を高める指導、助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広い視野での授業改善</li> <li>教科等の特性や本質を理解した実践</li> <li>資質・能力を培う授業の提案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの深化</li> <li>学校全体の授業力向上に係る企画</li> <li>学校内の中心で示範となる授業実践の推進</li> <li>校内研究の中心として組織を運営</li> <li>学校内外の教職員への指導、助言</li> </ul>
		福井の教育力を支える研究・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井の教育の特長の理解</li> <li>ふるさと福井を大切に思う心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築</li> <li>縦もち教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築</li> <li>幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進</li> <li>自主研究会への主体的な参画</li> <li>教員間の世代間交流による優れた教育力の継承</li> </ul>		

資質・能力		ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
				教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする
指導力	生徒指導	幼児・児童・生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの理解の重要性の認識</li> <li>子どもの発達段階への理解</li> <li>一人一人に向き合う意識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性の理解</li> <li>インクルーシブ教育の視点を踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級および学年全体の子どもの理解</li> <li>学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解</li> <li>子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営</li> </ul>
		問題行動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>個や集団への指導と手立ての理解</li> <li>一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴</li> <li>多様な子どもに対する寛容の心と態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性に応じた指導、支援</li> <li>子どもの特性を理解した原因分析力</li> <li>学校の生徒指導の方針に対する理解</li> <li>報告・連絡・相談を通じたチームで対応する指導の実践</li> <li>家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの中核として子どもへの適切な指導</li> <li>子どもの個性、特性に応じた指導方針を基にチームの中核として集団を牽引</li> <li>若手教員に対する適切な指導、支援</li> <li>家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの責任者として教職員に対する指導、助言</li> <li>子どもの個性、特性に応じた組織的な指導方針の立案</li> <li>チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整</li> <li>速やかな情報の共有と適切な管理</li> <li>家庭や地域、関係機関との連携・協働</li> </ul>
		特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基本的な知識</li> <li>発達障がいに対する知識、理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の理解、実践</li> <li>合理的配慮に対する理解、実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援の中核として実践を牽引</li> <li>子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言</li> <li>関係機関と協働した課題の改善、解決</li> </ul>

ステージ 資質・能力		福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする
マネジメント・人材育成	業務改善 (働き方改革 に向けて)	・効率的な時間管理に対する意識	・自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	・チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践	・チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言 ・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と組織的な実践
	学年経営 学級経営	・理想とする学級像の形成	・学級目標の達成に向けた子どもたちの協働的な学級づくりの指導 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	・学年のリーダーとして率先して協働的活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて中核として学校を牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言
	社会の変化への対応	・学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的な実践
	学校安全 危機管理	・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	・学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	・学校安全、危機管理に対して中核として対応 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	・チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対応と未然防止に対する教職員の指導、助言
	人材育成	・様々な課題に対応する力	・学校内外の自主研究への参画	・若手教員に対する指導、助言	・校内研修、自主研究の企画、運営
連携・協働	組織における協働	・仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	・教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	・ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上	・チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築
	家庭や地域社会との連携	・地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	・家庭、地域社会、関係機関との連携、協働のネットワークの形成 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築 ・学校内外の諸活動に対する積極的な参画		
福の井力	「ふるさと福井」の教育	・「ふるさと福井」への愛着 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE教育」など)		

ステージ	管理職	トップリーダーとして教育活動を推進する
------	-----	---------------------

資質・能力					
素 養	教育的愛情 使命感 責任感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚</li> <li>・よりよい学校教育の実現に向けた努力</li> </ul>	学 校 経 営 者 と し て の 専 門 性 ( 経 営 ・ 組 織 マ ネ ジ メ ン ト )	業務改善 (働き方改革 に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の勤務時間の把握</li> <li>・勤務時間を意識した教職員の働き方の徹底と職場環境の構築</li> <li>・教職員の業務の明確化と外部人材活用、外部業務委託の推進</li> <li>・PTAや地域の理解を得るための取組</li> </ul>
	倫理観 人間性 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成</li> <li>・子どもや教職員の示範となる言動</li> <li>・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築</li> </ul>		組織マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示</li> <li>・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力</li> <li>・スクールプランを実現する具体的な方策の決定</li> <li>・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり</li> <li>・一人一人の教職員が意欲をもって活動できる機会の構築、適性に応じた職務の分掌による組織運営</li> <li>・福井型コミュニティスクールによる地域と連携した学校づくり</li> <li>・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり</li> <li>・特別支援教育のコーディネート力を高め、組織的なインクルーシブ教育の推進</li> </ul>
	判断力 学び続ける力 探究心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長</li> <li>・正確で迅速な情報収集、状況把握、的確な判断を行う力</li> <li>・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握</li> </ul>		教職員理解 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質・能力や適性の把握と的確な勤務管理</li> <li>・目標管理票と面談、報告・連絡・相談を通じた教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導</li> <li>・教職員のもち味や新しいアイデア等の学校運営への活用</li> <li>・教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成</li> </ul>
	創造的に思考 する力 コミュニケーション 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力</li> <li>・教職員との日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築</li> </ul>		学校安全 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な環境での教育活動の展開</li> <li>・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底</li> <li>・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整</li> <li>・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備</li> </ul>
		財務管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実</li> <li>・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理</li> </ul>	
		家庭や地域 社会との連 携・折衝		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約</li> <li>・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用</li> <li>・地域の教育資源の積極的な活用</li> </ul>	

## 2 令和2年度 福井県教員研修のポイント

(1)「福井県学校業務改善方針」を踏まえて教員研修を精選・効率化 ※県教委が実施する112研修のうち79 (70.5%)

- 教員研修体系を見直してミドルリーダー養成研修を廃止
  - ・教員生涯の研修受講を2日軽減
- 初任者研修について負担を軽減
  - ・宿泊を伴う研修の日程を1.5日に短縮
  - ・集合型研修の一部(4.5日分/14日分)を遠隔型研修(研修をライブ配信)や通信型研修(録画した番組を配信)に置換え
  - ・校内研修を精選(週6時間程度、年間180時間程度。教職大学院修了者は年間90時間程度)
- 教育庁各課の研修について精査
  - ・教員が集合して実施してきた14研修について廃止、文書通知や指導主事訪問時の指導・助言等、各学校で円滑な実践が進むように工夫
  - ・校外で行う研修に係る受講者の移動の負担を軽減するため、教育庁各課の9研修について遠隔型研修や通信型研修に置換え
- 日数・時間等を短縮、複数の研修を統合、悉皆研修を希望制に変更等、57研修について大幅に見直し
  - ・集合型研修の一部を「遠隔授業・研修システム」(以下、遠隔通信システム)を利用して、嶺南教育事務所や各拠点校等で受信する遠隔型研修に置換え、校外研修に係る受講者の移動の負担を軽減

(2)OJTを通じて日常的に学び合う校内研修を充実

- 学校内での研修を充実するために実践型の研修を推進
  - ・OJTを活用して指導力の向上を図るために、集合型研修を効率化して実施(マネジメント研修)
  - ・集合型研修の受講者に対して受講後の校内での実践を支援するために、研修後、希望者に「遠隔通信システム」を活用して、協議や地域ごとの実践交流を実施、受講者のフォローアップを充実
- 学校の様々な課題に対応するために訪問型研修を強化
  - ・学級経営に関する訪問型研修や、学校の要請に応じた教育相談に係る事例会議等を実施し、教育総合研究所などのチームによる継続的支援を充実
  - ・教育総合研究所と県教委、市町教委が連携して小・中学校を訪問し、優れた教材や指導方法を紹介

(3)新しい教育課題に対する研修を強化し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

- ICT機器を活用した授業を実践するための研修を充実
  - ・児童、生徒用のタブレット端末の導入に伴い、より教育効果の高い活用方法を全国の先進事例から学び、学校現場の教員が授業等に生かせるような実践的な研修を実施
  - ・各学校のICT機器を活用した授業づくりを支援するために、教育総合研究所と市町教委が連携して訪問型研修を実施
- 新しい教育課題に対する訪問型研修、通信型研修等を充実
  - ・新学習指導要領に対応した探究的な学習を導入した授業づくりや学校マネジメント、プログラミング教育、ポジティブ教育等、各学校の課題に即した実践的な研修を充実
  - ・SASAや全国学力調査などの分析結果をもとに授業改善を支援
  - ・新学習指導要領や教育改革に対応した通信型研修の講座を新規に配信し、授業づくりを支援

(4) 教員の自主的な研究活動への支援を充実し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

○「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現のために教員の自主研究活動への支援を強化

- ・若手教員の自主研究活動を活性化するための支援を充実
- ・ICT機器を活用した実践や探究的な学習活動など、新たな教育課題への対応に係る自主研究活動への支援を強化し、各学校や地域での特長ある実践的な取組みを支援

(5) 福井県教員育成指標をもとに、個々の教員がキャリア向上できる体制を充実

○「学び続ける教員」として、主体的なキャリア向上ができるように支援

- ・指標をもとに自分のキャリアステージに応じた資質・能力を分析し、主体的な研修の受講につなげるために、自分の現在の到達度が分かるキャリアシートを各自が作成して活用
- ・自分の研修の受講履歴を「研修講座申込システム」で把握し、キャリアステージに応じた効果的な研修の受講を計画

### 3 基本研修・職務研修

研修名		日数	対象者
若手教員研修	初任者研修	14日	令和2年度に採用された教諭
	2年目研修	5日	令和元年度に採用された教諭
	3年目研修	3日	平成30年度に採用された教諭
中堅教諭等資質向上研修 I・II・III	① 中堅教諭等資質向上研修の全日程	8日	令和2年度に免許状更新を行う教諭のうち、中堅教諭等資質向上研修の全日程または旧10年経験者研修を未修了の教諭 ※ただし、若手教員研修を終了していない教諭は除く。
	② 免許状更新講習に読替可能な研修	3日	令和2年度に免許状更新を行う教諭
	③ その他の研修	3, 5, 8日	令和元年度に①、②の対象者であったが、未受講の教諭
マネジメント研修		2日	研修の受講を希望する者で、市町教育委員会または県立学校の管理職より推薦を受けた40歳代から50歳代前半の教諭
新任教頭研修		5日	令和2年度の新任教頭
新任校長研修		3日	令和2年度の新任校長

幼稚園・認定こども園新規採用教員研修（9日）

(注)免許状更新に必要な30時間の講習のうち、令和2年度に県が行う免許状更新講習は、必修6時間、選択必修6時間、選択6時間、計18時間（3日分）。残り12時間は、大学等で受講することとなるため、各自大学等で手続きが必要。

(注)上記の日数は教育総合研究所が実施する研修（校外研修）の日数であり、研修によっては上記以外に学校内での研修（校内研修）の実施を要するものもある。

# 初任者研修

## (1) 目的

教育公務員特例法第23条に基づき、職務の遂行に必要な事項に関する実践的指導力を養うとともに、教員としての使命感や幅広い知見を養う。

## (2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を固めるスタートとして、豊かな人間性などの素養とともに学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働など、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

## (3) 変更点

- ・宿泊を伴う研修を2日から1.5日に縮減し、受講者の負担を軽減
- ・集合型研修1日分を、午後半日2回分の「遠隔通信システム」による遠隔型研修にて実施。研究所から地域の拠点会場へ配信、受講することで、受講者が遠方まで移動する負担を軽減するとともに、校務への影響も考慮した受講しやすい時間に実施
- ・授業名人の授業を参観する実践的な研修を導入し、授業力の向上を支援
- ・通信型研修（3.5日分/14日分）の報告をオンラインレポートに変更し、受講者の負担を軽減

## (4) 対象者

- ①令和2年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭
- ②令和2年度当初の公・国・私立幼稚園ならびに認定こども園等の新規採用教諭および令和元年度途中における公・国・私立幼稚園ならびに認定こども園等の新規採用教諭

## (5) 内容

### ①小学校

	研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 4月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のサービス</li> <li>・適正な勤務時間の管理</li> <li>・今日的課題</li> <li>・研修ガイダンス</li> <li>・マナーに関する講習</li> </ul> 通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 マネジメント
第2日 5月8日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究Ⅰ（授業づくり①）</li> <li>・特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応）</li> <li>・福井県の教育</li> <li>・メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携①）</li> </ul> 通信型研修「電話応対」	学習指導 マネジメント 生徒指導 連携・協働 素養
第3日 5月21日(木)嶺北 5月19日(火)嶺南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程</li> <li>・教科別研修Ⅰ（国・算・社・理・外国語）</li> </ul> 各自の参加する教科の通信型研修講座（国語、社会、算数、理科、外国語）から1講座選択	学習指導 連携・協働 学習指導

第4日 6月5日(金)嶺北 6月4日(木)嶺南	・学級づくり ・道徳の授業づくり		マネジメント 学習指導
第5日 第6日 7月28日(火) 7月29日(水)	・授業実践研究Ⅱ(授業実践グループ協議、授業づくり②) ・集団宿泊指導 ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携②) ・学級経営とソーシャルスキル	宿泊(奥越)	学習指導 生徒指導 連携・協働 素養 マネジメント
各自設定	通信型研修「キャリア教育の基礎」 ・授業研究(授業名人の授業を参観・研究会参加)		生徒指導 学習指導 連携・協働
第7日 10月2日(金) 福井・坂井・奥越 10月6日(火) 鯖丹・南越・嶺南	・体育に関する安全管理と指導		学習指導
	通信型研修「情報セキュリティの基礎」		マネジメント
第8日 11月5日(木)、 12日(木)、19日(木) 26日(木) のうちいずれか1日	・授業実践研究の共有「今年度の中間まとめ」 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)		学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「授業の見取りの基礎基本」		学習指導
第9日 1月21日(木)嶺北 1月14日(木)嶺南	・教育相談とカウンセリング ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携③) *幼稚園・認定こども園新規採用教員とのグループ協議(嶺北)		生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「不登校の理解と対応」		生徒指導
第10日 1月28日(木) 2月4日(木)、9日(火) 25日(木) のうちいずれか1日	・教育実践研究の共有「今年度のまとめ」 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)		学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
	通信型研修「見えてきた福井らしさ」		福井の力
第11日 各自設定	・授業研究(教科)		学習指導 連携・協働
第12日 各自設定	・授業研究(道徳、特別活動)		学習指導 連携・協働
第13日(遠隔型研修) 7月2日(木) 10月29日(木) の半日2回分	・人権教育(同和教育、いじめ防止) ・健康安全教育(安全管理、食育、保健指導) ・生徒指導(児童生徒理解、自殺防止) ・教職員のメンタルヘルス		生徒指導 マネジメント 生徒指導 マネジメント
	通信型研修「来校者対応」		素養
第14日 各自設定	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」 通信型研修「道徳教育の基礎」		学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度(教職大学院修了者は年間90時間程度)

②中学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月1日(水)	・教職員のサービス ・適正な勤務時間の管理 ・今日的課題 ・研修ガイダンス ・マナーに関する講習 通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 学習指導
第2日 5月7日(木)	・授業実践研究Ⅰ(授業づくり①) ・福井の教育 ・教科別グループ協議 ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携①) 通信型研修「電話応対」	学習指導 マネジメント 生徒指導 連携・協働 素養
第3日 5月21日(木)嶺北 5月19日(火)嶺南	・教育課程 ・教科別研修Ⅰ 通信型研修「教科指導」	学習指導 学習指導
第4日 6月5日(金)嶺北 6月4日(木)嶺南	・学級づくり ・道徳の授業づくり 通信型研修「思春期・青年期の理解」	マネジメント 学習指導 マネジメント
第5日 6月16日(火)嶺北 6月18日(木)嶺南	・特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応) ・部活動指導 通信型研修「情報セキュリティの基礎」	生徒指導 マネジメント
第6日 第7日 7月28日(火) 7月29日(水)	・授業実践研究Ⅱ(授業実践グループ協議、授業づくり②) ・集団宿泊指導 ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携②) ・学級経営とソーシャルスキル ・地域別グループ協議 通信型研修「キャリア教育の基礎」	学習指導 生徒指導 連携・協働 素養 マネジメント 生徒指導
各自設定	・授業研究(授業名人の授業を参観・研究会参加)	学習指導 連携・協働
第8日 11月5日(木)、 12日(木)、19日(木) 26日(木) のうちいずれか1日	・授業実践研究の共有「今年度の間まとめ」 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション) 通信型研修「授業の見取りの基礎基本」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 学習指導
第9日 1月14日(木)	・教育相談とカウンセリング ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携③) 通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養 生徒指導
第10日 1月28日(木) 2月4日(木)、9日(火) 25日(木) のうちいずれか1日	・教育実践研究の共有「今年度のまとめ」 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション) 通信型研修「見えてきた福井らしさ」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 福井の力

第11日 各自設定	・授業研究（教科）	学習指導 連携・協働
第12日 各自設定	・授業研究（道徳、特別活動）	学習指導 連携・協働
第13日（遠隔型研修） 7月2日（木） 10月29日（木）	・人権教育（同和教育、いじめ防止） ・健康安全教育（安全管理、食育、保健指導）	生徒指導 マネジメント
	・生徒指導（児童生徒理解、自殺防止） ・教職員のメンタルヘルス	生徒指導 マネジメント
	通信型研修「来校者対応」	素養
第14日 各自設定	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」 通信型研修「道徳教育の基礎」	学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度（教職大学院修了者は年間90時間程度）

### ③県立中学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月1日（水）	・教職員のサービス ・適正な勤務時間の管理 ・今日的課題 ・研修ガイダンス ・マナーに関する講習 通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 学習指導
第2日 5月7日（木）	・授業実践研究Ⅰ（授業づくり①） ・福井の教育 ・教科別グループ協議 ・メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携①） 通信型研修「電話応対」	学習指導 マネジメント 生徒指導 連携・協働 素養
第3日 5月21日（木）	・教育課程 ・教科別研修Ⅰ 通信型研修「教科指導」	学習指導 学習指導
第4日 6月5日（火）	・学級づくり ・道徳の授業づくり 通信型研修「思春期・青年期の理解」	マネジメント 学習指導 マネジメント
第5日 6月16日（火）	・特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応） ・部活動指導 通信型研修「情報セキュリティの基礎」	生徒指導 マネジメント
第6日 第7日 7月28日（火） 7月29日（水）	・授業実践研究Ⅱ（授業実践グループ協議、授業づくり②） ・集団宿泊指導 ・メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携②） ・学級経営とソーシャルスキル ・地域別グループ協議 通信型研修「キャリア教育の基礎」	学習指導 生徒指導 連携・協働 素養 マネジメント 生徒指導
各自設定	・授業研究（授業名人の授業を参観・研究会参加）	学習指導 連携・協働

第8日 11月5日(木)、 12日(木)、19日(木) 26日(木) のうちいずれか1日	・授業実践研究の共有「今年度の中間まとめ」 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション) ----- 通信型研修「授業の見取りの基礎基本」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 ----- 学習指導
第9日 1月14日(木)	・教育相談とカウンセリング ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携③) ----- 通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養 ----- 生徒指導
第10日 1月28日(木) 2月4日(木)、9日(火) 25日(木) のうちいずれか1日	・教育実践研究の共有「今年度のまとめ」 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション) ----- 通信型研修「見えてきた福井らしさ」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 ----- 福井の力
第11日 各自設定	・授業研究(教科)	学習指導 連携・協働
第12日 各自設定	・授業研究(道徳、特別活動)	学習指導 連携・協働
第13日(遠隔型研修) 7月2日(木) 10月29日(木)	・人権教育(同和教育・いじめ防止) ・健康安全教育(安全管理・食育・保健指導) ----- ・生徒指導(児童生徒理解・自殺防止) ・教職員のメンタルヘルス ----- 通信型研修「来校者対応」	生徒指導 マネジメント ----- 生徒指導 マネジメント ----- 素養
第14日 各自設定	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」 通信型研修「道徳教育の基礎」	学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度(教職大学院修了者は年間90時間程度)

#### ④高等学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月1日(水)	・教職員の服務 ・適正な勤務時間の管理 ・今日的課題 ・研修ガイダンス ・マナーに関する講習 ----- 通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 ----- マネジメント
第2日 5月7日(木)	・授業実践研究Ⅰ(授業づくり①) ・福井の教育 ・教科別グループ協議 ・メンタルケア(メンタルヘルス相談員と連携①) ----- 通信型研修「電話対応」	学習指導 マネジメント 生徒指導 連携・協働 ----- 素養
第3日 5月21日(木)	・教育課程 ・教科別研修Ⅰ ----- 通信型研修「教科指導」	学習指導 ----- 教科指導

第4日 6月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校教育の現状と課題</li> <li>・ 教科指導の実際（公開授業参観等）</li> <li>・ 部活動</li> </ul>	連携・協働 学習指導 生徒指導 マネジメント
第5日 第6日 7月28日(火) 7月29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業実践研究Ⅱ（授業実践グループ協議、授業づくり②）</li> <li>・ 集団宿泊指導</li> <li>・ メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携②）</li> <li>・ 学級経営とソーシャルスキル</li> <li>・ 校種別グループ協議</li> </ul>	学習指導 生徒指導 連携・協働 素養 マネジメント
各自設定	通信型研修「キャリア教育の基礎」 通信型研修「ソーシャルスキル教育」 授業研究（授業名人の授業を参観・研究会参加）	生徒指導 学習指導 連携・協働
第7日 10月15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育の基礎</li> <li>・ 特別支援教育の現状と課題</li> </ul>	生徒指導 連携・協働
第8日 11月5日(木)、 12日(木)、19日(木) 26日(木) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業実践研究の共有「今年度の中間まとめ」（初任者・2年目・3年目のクロスセッション）</li> </ul>	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
第9日 1月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育相談とカウンセリング</li> <li>・ メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携③）</li> </ul>	生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養
第10日 1月28日(木) 2月4日(木)、9日(火) 25日(木) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育実践研究の共有「今年度のまとめ」（初任者・3年目・中堅のクロスセッション）</li> </ul>	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養
第11日 各自設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業実践と研究協議（指導主事訪問）</li> </ul>	学習指導 連携・協働
第12日 各自設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業実践と研究協議（指導主事訪問）</li> </ul>	学習指導 連携・協働
第13日（遠隔型研修） 7月2日(木) 10月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権教育（同和教育・いじめ防止）</li> <li>・ 健康安全教育（安全管理・食育・保健指導）</li> <li>・ 生徒指導（児童生徒理解・自殺防止）</li> <li>・ 教職員のメンタルヘルス</li> </ul>	生徒指導 マネジメント 生徒指導 マネジメント
第14日 各自設定	通信型研修「情報セキュリティの基礎」 通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	素養 学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度（教職大学院修了者は年間90時間程度）

⑤特別支援学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のサービス ・適正な勤務時間の管理 ・今日的課題</li> <li>・研修ガイダンス ・マナーに関する講習</li> </ul> 通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 学習指導
第2日 4月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別研究のテーマ設定にむけて</li> <li>・特別支援教育概論</li> <li>・障がいの理解</li> </ul>	学習指導 生徒指導
第3日 5月7日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究Ⅰ（授業づくり①）</li> <li>・福井の教育</li> <li>・校種別グループ協議</li> <li>・メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携①）</li> </ul> 通信型研修「電話対応」	学習指導 マネジメント 生徒指導 連携・協働 素養
第4日 6月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教育の現状と課題</li> <li>・教科指導の実際（公開授業参観等）</li> <li>・部活動</li> </ul> 通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	連携・協働 学習指導 生徒指導 学習指導
第5日 第6日 7月28日(火) 7月29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究Ⅱ（授業実践グループ協議、授業づくり②）</li> <li>・集団宿泊指導</li> <li>・メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携②）</li> <li>・学級経営とソーシャルスキル</li> <li>・校種別グループ協議</li> </ul> 通信型研修「教科指導」	学習指導 生徒指導 連携・協働 素養 マネジメント 学習指導
各自設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究（授業名人の授業を参観・研究会参加）</li> </ul>	学習指導 連携・協働
第7日 9月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する課題研究</li> <li>・個別研究の中間報告（研究協議）</li> <li>・教科指導の基礎</li> </ul>	学習指導 連携・協働
第8日 10月15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の基礎</li> <li>・特別支援教育の現状と課題</li> </ul> 通信型研修「思春期・青年期の理解」	生徒指導 連携・協働 生徒指導
第9日 11月5日(木)、 12日(木)、19日(木) 26日(木) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究の共有「今年度の中間まとめ」（初任者・2年目・3年目のクロスセッション）</li> </ul> 通信型研修「授業の見取りの基礎基本」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 学習指導
第10日 1月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談とカウンセリング</li> <li>・メンタルケア（メンタルヘルス相談員と連携③）</li> </ul> 通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導 マネジメント 連携・協働 素養 生徒指導

第11日	・個別研究の発表と今後の課題	学習指導
第12日 1月28日(木) 2月4日(木)、9日(火) 25日(木) のうちいずれか1日	・教育実践研究③の共有 「今年度のまとめ」 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)  通信型研修「見えてきた福井らしさ」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 福井の力
第13日 各自設定	・授業実践と研究協議(指導主事訪問)	学習指導 連携・協働
第14日(遠隔型研修) 7月2日(木) 10月29日(木)	・人権教育(同和教育・いじめ防止) ・健康安全教育(安全管理・食育・保健指導) ・生徒指導(児童生徒理解・自殺防止) ・教職員のメンタルヘルス 通信型研修「来校者対応」	生徒指導 マネジメント 生徒指導 マネジメント 素養

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度(教職大学院修了者は年間90時間程度)

⑥幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修ガイダンス</li> <li>・教職員のサービス ・適正な勤務時間の管理</li> <li>・幼児教育の方針・目標・現状と課題</li> <li>・幼稚園教諭、保育教諭としての心得</li> <li>・福井の教育</li> </ul>	素養
第2日 5月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の安全</li> <li>・幼児期の食育</li> <li>・グループ協議</li> </ul>	学習指導 マネジメント
第3日 6月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との対応と関係づくり</li> <li>・水遊びへの配慮と工夫</li> <li>・運動遊びの工夫</li> </ul>	学習指導 生徒指導
第4日 7月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育から小学校教育への接続カリキュラムについて</li> <li>・教育課程と指導計画</li> <li>・絵本の選び方と読み聞かせ</li> </ul>	学習指導 生徒指導
第5日 9月24日(木)	(事前研修) 通信型研修「造形遊びの基礎」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の人権</li> <li>・教職員のメンタルヘルス</li> <li>・造形遊びの工夫</li> </ul>	学習指導 学習指導
第6日 10月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽遊びの工夫</li> <li>・環境構成の工夫</li> </ul>	学習指導 連携・協働
第7日 1月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気がかりな幼児について</li> <li>・教育相談の基礎的な理論と方法</li> <li>・気がかりな幼児への支援(小学校初任者とグループ協議)</li> </ul>	生徒指導 連携・協働
第8日 各自設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、認定こども園、保育所参観</li> </ul>	学習指導 生徒指導 連携・協働
第9日 各自設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校指導主事訪問、研究指定校発表会等参加</li> </ul>	学習指導 生徒指導 連携・協働

※園内研修は年間10日

## 2年目研修

### (1) 目的

- ・主体的・対話的で深い学びを実践するための指導力の向上を図る。
- ・教員として必要な幅広い視野と、多様なものの見方や考え方を身に付ける。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を固めるために、豊かな人間性等の素養とともに、学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働等、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 変更点

- ・第1日の実施時期を4月下旬から5月中旬に変更し、受講者のニーズに対応
- ・第3日にポジティブ教育（ユニバーサルデザインと合理的配慮）についての研修を導入、多様な児童生徒への対応についての研修を充実
- ・通信型研修の報告をオンラインレポートに変更し、受講者の負担を軽減

### (4) 対象者

- ・令和元年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、初任者研修を受講したもの。

### (5) 内容

	研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 5月12日(火)嶺北 5月13日(水)嶺南	(事前研修) 通信型研修「学級づくりシリーズⅡ」	マネジメント
	・ポジティブ教育（ピアサポート・学級経営） ・授業実践研究Ⅲ（授業実践研究の意義） 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくりについて学ぶ	生徒指導 学習指導
第2日 8月20日(木) 中、高 各自設定 小、特	【小学校】教科別研修Ⅱ ・書写、音楽、図工、家庭から1講座選択 【中・高】主体的・対話的で深い学びの指導と評価 ・主体的・対話的で深い学びにおける指導と評価の一体化について学ぶ（パフォーマンス評価など） 【特支】特別支援教育研修 ・特別支援教育センターの研修から1講座選択	学習指導
第3日 ①6月11日(木)嶺北 6月16日(火)嶺南 ②9月15日(火)嶺北 9月24日(木)嶺南	①ポジティブ教育 (ユニバーサルデザインと合理的配慮)	生徒指導
	②授業実践研究Ⅳ（授業実践研究の進め方） 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくりについて学ぶ	学習指導

<p>第4日</p> <p>11月5日(木)、12日(木)</p> <p>19日(木)、26日(木)</p> <p>のうちいずれか1日</p>	<p>・授業実践研究の共有 「今年度の間中まとめ」 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)</p> <p>授業実践を伝え合い聴き合うことを通して、客観的な視点で問い直すことにより、成果や課題を明確にして実践を深める</p>	<p>学習指導 連携・協働</p>
<p>第5日</p> <p>各自設定</p>	<p>・ボランティア活動</p> <p>各自がボランティアの場所、日時を設定して実施</p>	<p>学習指導</p> <p>連携・協働 福井の力</p>

## 3年目研修

### (1) 目的

- ・専門的な教科指導力と授業力の向上を図る。
- ・時代に即した教育課題に取り組み、変化への対応力を育む。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を強固にするために、豊かな人間性等の素養とともに、学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働等、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

### (3) 変更点

- ・第1日の実施時期を、4月下旬から5月中旬に変更し、受講者のニーズに対応
- ・第1日の校種別研修（小学校）の内容を「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり」に変更するとともに、「ポジティブ教育（レジリエンスや保護者応対等）」についての研修を導入し、受講者のニーズに対応
- ・通信型研修の報告をオンラインレポートに変更し、受講者の負担を軽減

### (4) 対象者

- ・平成30年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、2年目研修を受講したもの。

### (5) 内容

	研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 5月13日(水) 嶺北小・中、高・特  5月12日(火) 嶺南小・中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実践研究Ⅴ（授業実践研究の深め方） グループ協議を通して、昨年度の授業実践を振り返り、今年度の課題を明確にする</li> <li>・校種別研修 「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり」（小、中・高） 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業について、講義・演習を通して学ぶ 「児童・生徒の行動理解」（特） 特別支援学校の子どもたちがもつ様々な行動の特性を理解し個々の子どもたちに対応する方法を学ぶ</li> <li>・ポジティブ教育（レジリエンス・保護者応対）</li> </ul>	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 生徒指導

<p>第2日 11月5日(木)、12日(木) 19日(木)、26日(木) のうちいずれか1日</p>	<p>・授業実践研究の共有 「今年度の間まとめ」 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション) 授業実践を伝え合い聴き合うことを通して、客観的な視点で 問い直すことにより、成果や課題を明確にして実践を深める</p> <hr/> <p>通信型研修「アクティブ・ラーニング講座 [授業づくり編]」</p>	<p>学習指導 マネジメント 連携・協働 素養</p> <hr/> <p>学習指導</p>
<p>第3日 1月28日(木)、2月4日(木) 2月9日(火)、25日(木) のうちいずれか1日</p>	<p>・教育実践研究の共有 「3年間の総まとめ」 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション) 授業実践を伝え合い聴き合うことを通して、経験年数や校種 を超えた多様な視点から問い直すことにより、3年間の成果 や今後の展望を明確にして実践を深める</p> <hr/> <p>通信型研修「学級づくりシリーズⅢ」</p>	<p>学習指導 マネジメント 連携・協働 素養</p> <hr/> <p>マネジメント</p>

## 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

### (1) 目的

- ・教育公務員特例法第24条の改正に基づき、中堅教諭として、教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において、中核的な役割を果たすことへの意識の向上を図る。
- ・ふくい教諭として、職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。

### (2) 福井県教員育成指標との関連

- ・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ(30歳代)・Ⅱ(40歳代)〈第2ステージ〉  
中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引するために、若手教員等と積極的に関わり、チームの中核となって協働して課題に対応する力を実践的に身に付けられるようにする。
- ・中堅教諭等資質向上研修Ⅲ(50歳代)〈第3ステージ〉  
経験を生かして中堅教員や若手教員に対して指導・助言し、組織的な運営をするために、チームの中心となって学校経営に積極的に関わる力を身に付けられるようにする。

### (3) 変更点

- ・第1日の実施時期を、5月中旬から4月下旬に変更し、受講者のニーズに対応
- ・第1日の内容に「ポジティブ教育(ピア・サポート、レジリエンス)」、「育成指標を基にしたOJT」についての研修を導入し、受講者のニーズに対応
- ・第2日の教科別研修Ⅲの研修について、小学校(国・社・算・理・外国)中学校・高等学校(国・社・数・理・英)を半日開催、中学校・高等学校(美・音・書・家・技・商・福・農・工・水)、道徳について1日開催(半日受講も可)に整理
- ・授業名人の授業参観や他校の公開授業参観(研究協議を含む)などの実践的研修や、各自の課題意識に基づく通信型研修の受講など、授業力の向上を支援
- ・通信型研修の報告をオンラインレポートに変更し、受講者の負担を軽減

### (4) 対象者および受講日数

- ・幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭・保育教諭のうち、次に該当する教諭等が対象となる。
- ①中堅教諭等資質向上研修の全日程(8日)の対象者  
令和2年度に、免許状更新を行う者のうち、中堅教諭等資質向上研修の全日程(旧10年経験者研修)を修了していない教諭等。ただし、若手教員研修を修了していない場合は②の対象となる。
- ②免許状更新講習に読替可能な研修のみ(3日)の対象者  
令和2年度に、免許状更新を行う教諭等。
- ③その他(①②以外の研修)の対象者  
令和元年度に①、②の対象者であったが未受講の教諭等。

### (5) 免許状更新講習に読替可能な単位(免許状更新講習)

- ・第3～5日は、免許状更新に必要な30時間(必修領域6時間、選択必修領域6時間、選

択領域18時間)のうちの、必修領域6時間、選択必修領域6時間、選択領域6時間に読替が可能。

- ・なお、残りの選択領域12時間はそれぞれの教員が自身で申し込み、大学等で受講することとする。

(6) 内容 ※第3～5日は、免許状更新講習に読替可能な研修

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月22日(水) 4月23日(木) 2日のうち、指定された1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服務規律 ・ 効率的、効果的な業務改善の提案と実践</li> <li>・ 教員育成指標に基づいたOJT</li> <li>・ ICT機器の活用 タブレット等のICT機器を教材作りや授業などで活用する力を養う</li> <li>・ ポジティブ教育 (ピア・サポート、レジリエンス)</li> <li>・ ファシリテーションの意義と方法 主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業を行うために必要なファシリテーション力を養う</li> </ul>	素養 マネジメント 人材育成 学習指導  生徒指導 連携・協働
第2日 各自1日分(6時間)を 選択	<必ず受講(3時間)> 【小】教科別研修Ⅲおよび教育庁各課研修(3時間) ・ 国語、算数、理科、社会、外国語、道徳等の研修から1講座(3時間)選択 【中・高】教科別研修Ⅲおよび教育庁各課研修(3時間) ・ 各自の専門教科または道徳の研修を1講座(3時間)選択 【特支】特別支援教育研修および教育庁各課研修(3時間) ・ 特別支援教育に関する研修から1講座(3時間)選択 <選択受講(3時間)> 【小・中・高】 ・ 教科別研修Ⅲおよび教育庁各課研修1講座(3時間) 【特支】 ・ 特別支援教育研修および教育庁各課研修1講座(3時間) 【小・中・高・特支】共通 ・ 授業名人の授業参観や他校の公開授業参観(研究協議も含む)(3時間) ・ 通信型研修1講座(授業づくりに関わるもの)(3時間) ※教科別研修Ⅲ、特別支援教育研修を1日(6時間)受講した場合は、選択受講はしなくてもよい	学習指導
第3～5日 免許状更新講習の4 日程から1つを選択  7月28日(火) ～7月30日(木) <教育総合研究所>  8月4日(火) ～8月6日(木) <武生商工会議所>	教育実践と教育改革I「これからの教育」を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の教育政策や世界の教育の動向</li> <li>・ 子どもの変化と発達(生徒理解)</li> <li>・ 実践の展開の道筋をたどる視点と方法(世代別グループ協議)</li> </ul>	素養 学習指導 生徒指導 マネジメント 人材育成 連携・協働

<p>8月18日(火) ～8月20日(木) &lt;嶺南教育事務所&gt;</p> <p>12月24日(木) ～12月28日(月) &lt;教育総合研究所&gt;</p>	<p>教育実践と教育改革Ⅱ(年代別研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各年代に求められる次のテーマについて、実践報告を読み解き、その実践をグループ協議で説明、実践を振り返りながらまとめる</li> <li>同世代と語り合いながら授業改善・個別支援等の視点を学ぶ</li> </ul> <p>○テーマ1(30歳代受講者対象) 「授業づくり」を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学びを導くカリキュラムデザインの考え方、評価の方法</li> </ul> <p>○テーマ2(40歳代受講者対象) 「気がかりな子どもへの支援」を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級経営や特別に支援の必要な子どものチームでの指導等</li> </ul> <p>○テーマ3(50歳代受講者対象) 「学校マネジメント」を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する教育実践、学校運営への関わり方</li> </ul>	<p>素養 学習指導 生徒指導 マネジメント 人材育成 連携・協働</p>
	<p>教育実践と教育改革Ⅲ「教育実践の省察」を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践の歩みを記録することの意味</li> <li>自分自身の実践経験の歩みをたどり直す</li> <li>教師の成長に関する課題の確認・整理</li> </ul>	<p>素養 学習指導 生徒指導 マネジメント 人材育成 連携・協働</p>
<p>第6日</p> <p>1月28日(木) 2月4日(木) 2月9日(火) 2月25日(木) のうちいずれか1日</p>	<p>・教育実践研究の共有 「教育実践研究のまとめ」 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)</p> <p>実践を伝え合い聴き合うことを通して、経験年数や校種を超えた多様な視点から問い直すことにより、教師自身の実践を深めるとともに、ファシリテーションの力をつける</p> <p>通信型研修「ファシリテーションの基礎」</p>	<p>学習指導 マネジメント 人材育成 連携・協働 素養 マネジメント 人材育成 連携・協働</p>
<p>第7日、第8日 各自設定</p>	<p>・社会体験研修(2日間) 異業種体験</p>	<p>素養 連携・協働</p>

※校(園)内研修は年間10日以上

## マネジメント研修

### (1) 目的

- ・学校経営の理論やそれに基づいたビジョンを理解し、その改善のための方法を学ぶ学校組織マネジメントと、教育課程を編成し改善するスキルを高めるためのカリキュラム・マネジメントに関する研修を行い、中堅教諭等が具体的実践を通して学校運営に積極的に関わり、管理職を目指す上で必要な資質・能力を高めることを目的とする。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<第3ステージ>

- ・ミドルリーダーとしての経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする立場であるため、学校の実態把握や具体的改善方策の提案など、組織運営についての専門性と実践力を身に付けられるようにする。

### (3) 変更点

- ・第1日を6月に実施し、受講者の所属校での取組みを充実
- ・講義・演習後に受講者の校内実践を支援する学校別協議（「遠隔通信システム」による協議、地域ごとの実践交流など）を実施し、受講者へのフォローアップを充実
- ・福井大学教職大学院と連携し、研修修了生に対して、大学院の「学校改革マネジメント1年履修コース」への進学を可能とする仕組みを導入

### (4) 対象者

- ・研修の受講を希望する者で、市町教育委員会または県立学校の管理職より推薦を受けた40歳代から50歳代前半の教諭

### (5) 内容

研修内容	指標で求められている資質・能力	
第1日 6月4日(木)	(事前研修) 通信型研修「学校組織マネジメント」 (事前課題) 作成 ・講義、演習「組織の活性化に向けた学校組織マネジメントの活用」 所属校のスクールプランの検討と意見交換 ・具体的実践事例の検討 (事後課題) 校務分掌における具体的実践プラン作成	マネジメント マネジメント 連携・協働 マネジメント
第2日 8月3日(月)	(事前研修) 通信型研修「カリキュラム・マネジメントの基礎」 (事前課題) 作成 ・講義、演習「教育目標実現のためのカリキュラム・マネジメント」 各学校の教育目標実現のための、教育課程の編成や、その実施・ 評価、改善について 教育課程全体を通しての取り組み 具体的実践事例の検討 (事後課題) 校務分掌における具体的実践プラン作成	マネジメント マネジメント 連携・協働 マネジメント

- ・受講者に対する個別の支援や指導・助言、学校別協議を実施（「遠隔通信システム」による協議、地域ごとの実践交流など）
- ・各校での実践について報告書を提出（1月末）し、研修の成果を発表（2月）

## 新任教頭研修

### (1) 目的

- ・教頭に求められる評価者としての資質・能力の向上を図る。
- ・ケース演習を通して実践的なマネジメントの手法を学び、学校経営力の向上を図る。
- ・ファシリテーターの経験を通して、傾聴の技術と大切さを学ぶ。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<管理職>

- ・トップリーダーとして教育活動を推進するために、コミュニケーション力などの素養と学校経営者としての専門性を高め、学校運営の実践力を身に付けられるようにする。

### (3) 変更点

- ・目標管理や人事評価に対する考え方と効果的な進め方について実践的な演習を充実
- ・気がかりな児童・生徒へのチーム支援のマネジメントについての研修を充実

### (4) 対象者

- ・令和2年度 公立小学校・中学校・県立学校の新任教頭

### (5) 内容

研修内容	指標で求められている 資質・能力
(事前研修) 通信型研修「目標管理の基礎」 ----- ・新任教頭に期待すること (教育庁等講話) ・働き方改革に向けた業務改善 ・目標管理や人事評価の考え方と進め方 面談の行い方や評価する視点について ・気がかりな児童・生徒へのチーム支援について	マネジメント 素養 学校経営 安全・危機管理
第1日 4月16日(木)	
第2日 7月31日(金)	素養 学校経営
・新しい時代に対応するための学校管理職マネジメント① ～情報収集・分析・構想～ 学校の現状・問題を明らかにし、「ありたい姿」(目的・目標)を描くために必要な力を高める	
第3日 10月7日(水)	素養 学校経営
・新しい時代に対応するための学校管理職マネジメント② ～企画・実行・判断～ 「ありたい姿」に向けた方策を「企画」する際、出された案を「検討」「改善」し、「決定」するための考え方や観点、方策を「実行」するにあたり、周囲を巻き込みながら効果的に実行していくために必要なステップ、日常の問題状況に対して、健全な「判断」を下すために必要な視点や考え方を学ぶ	
第4・5日 7・8・12月	マネジメント
・ファシリテーター 免許状更新講習のグループ協議でファシリテーターを務める	

## 新任校長研修

### (1) 目的

- ・学校経営ビジョンの立て方や共有化など、学校改善に向けての戦略を学ぶ。
- ・カリキュラム・マネジメントに関する専門的な知識を習得し、実践的な学校経営力を育成する。
- ・魅力ある学校づくりのための具体的な実践や危機管理について学び、多様な視点で対応できるようにする。

### (2) 福井県教員育成指標との関連<管理職>

- ・トップリーダーとして教育活動を推進する立場であるため、創造的に思考する力などの素養と学校経営者としての専門性（カリキュラム・マネジメントやリスクマネジメントなど）を、実践的な研修を通して身に付けられるようにする。

### (3) 変更点

- ・教員の働き方改革についてのヒントを得るために、事例を基にした実践的な研修を実施し、学校経営に係るマネジメント力を育成

### (4) 対象者

- ・令和2年度 公立小学校・中学校・県立学校の新任校長

### (5) 内容

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月14日(火)	(事前研修) 通信型研修「学校組織マネジメントの基礎」	マネジメント
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任校長に期待すること（教育庁等講話）</li> <li>・ポジティブ教育について（講義）</li> <li>・学校組織の活性化と業務改善、危機管理のポイント 校長経験者から、魅力ある学校づくりのための具体的な実践や危機管理のあり方を学ぶ</li> <li>・教職員人事評価制度の概要と目標管理</li> </ul>	素養 教職員理解 人材育成 危機管理 マネジメント
第2日 6月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員育成指標について～意義と活用の仕方～</li> <li>・学校経営ビジョンの作成と共有 学校経営ビジョンを立てる際のポイントや教職員への共有化、学校改善のための手法を学ぶ</li> <li>・教職員人事評価の運用と留意点</li> </ul>	学校組織 マネジメント
第3日 7月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントによる学校改革</li> <li>・民間企業の働き方改革と人材育成</li> </ul>	学校組織 マネジメント

## 採用前研修

### ○教員志望者セミナー「福井県で教員になろう」

#### (1) 目的

- ・未来を担う子どもたちを育てる教員の仕事の魅力を伝え、福井県の教員志望者を増やし、将来の福井県の教育力向上を図る。

#### (2) 福井県教員育成指標との関連<福井県が求める採用時の姿>

- ・子どもに対する愛情に加え、豊かな人間性や広い視野を持ち、他者との意思の疎通と協働を図ることの重要性を知る。

#### (3) 対象者

- ・大学生（大学院生含む）、高校生、保護者

#### (4) 内容

実施時期	実施場所	内容（嶺北会場、嶺南会場 共通）
8月16日（日）	嶺北会場（福井市）	第1部 講話と説明 福井県の求める人材と採用試験
		第2部 パネルディスカッション 若手教員が語る教職の魅力
8月 8日（土）	嶺南会場（敦賀市）	第3部 グループ懇談 教員と少人数で気軽にトーク

### ○臨時任用講師研修

#### (1) 目的

- ・臨時任用講師に対して必要とされる基本的な知識の習得や、指導力の向上に資する研修を行うことにより、臨時任用講師の資質・能力の向上を図る。

#### (2) 福井県教員育成指標との関連<福井県が求める採用時の姿>

- ・教職への情熱とともに豊かな人間性や広い視野を持ち、学びの専門家としての心構えを持つことができる。

#### (3) 対象者

- ・講師等経験1年未満の臨時任用講師
- ・講師等経験1年以上の臨時任用講師の希望者

#### (4) 内容

校外研修		研修内容	指標で求められている 資質・能力	
教育総合研究所	嶺南教育事務所			
指定 研修	① 4月15日(水)	4月16日(木)	教員の基本(服務規律、本県教育の特色、健康安全教育等)	素養
	② 6月3日(水)	6月2日(火)	教員の指導力Ⅰ(学習指導技術の基礎、生徒指導の現状と課題、教育相談等)	指導力
	③ 9月9日(水)	9月10日(木)	教員の指導力Ⅱ(模擬授業実践)	指導力
	④ 10月21日(水)	10月15日(木)	今日的課題(人権教育、道徳教育、特別支援教育)	素養・ 指導力
選択 研修	⑤ 各自設定		教科別研修講座等の受講	指導力
			通信型研修1講座を選択受講	素養・ 指導力
	⑥ 各自設定(いずれか一つ選択)		授業名人等の授業参観	指導力
			異校種の学校参観	素養・ 指導力

※校内研修は、年間25時間程度(授業研究15時間程度、教員の実務に関する研修10時間程度)

#### ○内定者事前研修

##### (1) 目的

- ・福井県公立学校教職員としての確かな職務遂行に備える。

##### (2) 福井県教員育成指標との関連<福井県が求める採用時の姿>

- ・教職への情熱と共に豊かな人間性や広い視野を持ち、学びの専門家としての心構えをもつことができる。

##### (3) 対象者

- ・令和3年度 福井県公立学校教職員採用内定者

##### (4) 内容

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
	自己研鑽(各自) ・個人の課題に応じた研修内容を考え、教師としての見識を広げる ・通信型研修の受講、推奨図書を読む、公開授業参観等	素養
第1回 1月下旬	個人面談 ・校種、教科指導について ・自己研鑽に対する振り返り(アンケート)	素養
第2回 3月下旬	勤務予定校等への訪問 ・各市町教委、各配置校への挨拶 ・配置校での概要説明	素養
第3回 3月下旬	勤務予定校等への訪問 ・各配置校にて職員会議等に参加	素養

## 4 基本研修で実施する教科別研修および通信型研修

### (1) 教科別研修

区分	教科	研修講座タイトル	受講対象者			所管	
			初任者研修	2年目研修	資質向上研修 中堅教諭等	教育総合 研究所	嶺南教育 事務所
教科別研修Ⅰ	各教科	校種別教科研修	○				
教科別研修Ⅱ	国語	小・中学校国語科書写		○		■ 1日	
	芸術	小学校音楽科		○		■ 1日	
		小学校図画工作科		○		■ 1日	
家庭	小学校家庭科		○		■ 1日		
教科別研修Ⅲ	国語	小学校国語科			○	□ 半日	□ 半日
		中学校国語科			○	□ 半日	□ 半日
		高等学校国語科			○	□ 半日	
	地歴 公民 社会	小学校社会科			○	□ 半日	□ 半日
		中学校社会科			○	□ 半日	□ 半日
		高等学校地理歴史・公民科			○	□ 半日	
	算数 数学	小学校算数科			○	□ 半日	□ 半日
		中学校数学科			○	□ 半日	□ 半日
		高等学校数学科			○	□ 半日	
	理科	小学校理科			○	□ 半日	□ 半日
		中学校理科			○	□ 半日	□ 半日
		高等学校理科（生物）（地学）			○	□ 半日	
	芸術	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽			○	■ 1日	
		中学校美術科・高等学校芸術科美術			○	■ 1日	
		高等学校芸術科書道			○	■ 1日	
	技術・家庭 工業・商業 他	中学校技術・家庭科(技術分野)・産業教育とものづくり			○	■ 1日	
		中学校技術・家庭科(家庭分野)・高等学校家庭科			○	■ 1日	
	英語	小学校外国語科			○	□ 半日	
		中学校英語科			○	□ 半日	□ 半日
		高等学校英語科			○	□ 半日	
	道徳	小・中学校道徳科			○	■ 1日	□ 半日
その他の 研修	プログラミング教育〔小・情報科担当〕			○	□ 半日		
	地域協働型〔総合的・探究的な学習の時間担当〕			○	□ 半日		

※体育については、別機関にて研修を実施

- ・「○」は研修対象者が選択して受講する講座、「□」は半日、「■」は1日で実施する講座
- ・教育総合研究所、嶺南教育事務所が所管する教科別研修Ⅲの小・中・高等学校の各5講座（国・社・数・理・英）は、全て半日研修となる。そのため、「中堅教諭等資質向上研修」の受講者が選択して受講する教科別研修Ⅲは、二つの教科または二つの校種を選択受講することができる。

(2) 通信型研修

領域	講座タイトル		受講対象者										
			初任者研修					2年目研修	3年目研修	中堅教諭等資質向上研修	マネジメント研修	新任教頭研修	新任校長研修
			小	中	県中	高	特						
授業改善	45本	教科指導に関する研修(各教科)	○	○	○	○	○						
	G101	授業のユニバーサルデザイン	◎	◎	◎	◎	◎						
	G102	授業の見取りの基礎・基本	◎	◎	◎	◎	◎						
	H801	道德教育の基礎	◎	◎	◎								
	G111	アクティブ・ラーニング講座 [入門編]	◆	◆	◆	◆	◆	◎	◆	◆	◆	◆	◆
	G112	アクティブ・ラーニング講座 [授業づくり編]	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◎	◆	◆	◆	◆
	G141	キャリア教育の基礎	○	○	○	◎							
教育相談 ・ 学級経営	G201	不登校の理解と対応	◎	◎	◎	◎	◎					◆	
	G202	思春期・青年期の理解		○	○	◎	◎						
	G211	学級づくりシリーズⅠ	◎	◎	◎	◎	◎						
	G212	学級づくりシリーズⅡ						○					
	G213	学級づくりシリーズⅢ							◎				
	G222	ソーシャルスキル教育				○							
教育情報	G301	情報セキュリティの基礎	◎	◎	◎	◎							
	G302	知ってる？ネットトラブルのこと											◆
社会 基礎 力人	G401	電話応対	○	○	○	○	○						
	G402	来校者応対	○	○	○	○	○						
学校改善	G621	見えてきた福井らしさ	◎	◎	◎	◎	◎						
	G611	ファシリテーションの基礎								◎		◆	
	G612	カリキュラム・マネジメントの基礎									○		◆
	G601	教師のメンタルヘルス										◆	
	G614	効果的な校内研修を目指して										◆	◆
	G615	アクティブ・ラーニングで学校改善を										◆	◆
組織経営	G700	目標管理の基礎										○	
	G730	学校組織マネジメント									○		○
	G710	管理職のための教育法規										◆	
	G711	リスクマネジメントの基礎										◆	
	G721	教育法規の基礎入門										◆	

◎…集合研修に置き換え、受講後はオンラインレポート提出

○…事前教材として視聴する講座

◆…受講を推奨する講座

## 5 新しい教育課題への対応（「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現）

### （1）ICT機器を活用した授業を実践するための研修を充実

ア 児童、生徒用のタブレット端末の導入に伴い、より教育効果の高い活用方法を全国の先進事例から学び、学校現場の教員が授業等に生かせるような実践的な研修を実施（小学校、中学校、県立学校教員を対象に各地区で実施予定）

イ 各学校のICT機器を活用した授業づくりを支援するために、教育総合研究所と市町教委が連携して訪問型研修を実施

- ・小・中・高等学校の要請により、ICT機器（タブレットPC）を活用した授業づくりに関する研修を実施

（研修の内容）

「思考力」、「プレゼン力」等を育成する授業支援アプリ活用に関すること、プログラミング教育に関わること、市町の導入アプリ等に応じたアクティブ・ラーニングの実践に向けたICT活用に関すること、「個別最適化された学び」の実現に向けたICT活用に関すること

ウ 若手教員の基本研修において、ICT機器の操作等の基礎的な研修を実施

- ・初任者研修 通信型研修による「情報セキュリティの基礎」
- ・2年目研修 「授業づくり研修においてICT機器を活用した指導方法等」
- ・中堅教諭等資質向上研修 「タブレットを活用した教材づくりや授業づくり」

### （2）新しい教育課題に対する訪問型研修、通信型研修等を充実

ア 新しい教育課題に関する研修（プログラミング教育、小学校外国語科、地域協働の学習、読解力育成（RST））など、Society5.0の時代に適応し、グローバルな視野で考え、表現する力をつける授業改善のための研修を実施

イ 幼、小・中学校において、持続可能な幸せを育む学校づくりを目的としたポジティブ教育の研修を実施する。

ウ 若手教員や中堅教員の基本研修において、主体的・対話的で深い学びに関する研修を実施し、授業づくりの基礎を身に付けさせる。若手以外の教員については、通信型研修の受講を促進する。

- ・2年目研修 「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業方法」
- ・3年目研修 「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり」
- ・中堅教諭等資質向上研修 「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業のためのファシリテーション力」

## 6 教育庁各課等の研修

No	研修名		主な研修内容	受講者	実施 日数	受講 人数
1	学校 振興 課	内定者事前研修	内定者に対して、4月からの採用に対する不安を軽減させるとともに、自己を高めるための自己研鑽の機会を設定する。	令和2年度公立学校 教員、小・中学校事 務職員の内定者	3日	250
2	高校 教育 課	地区別人権教育 研究協議会	各学校における人権教育推進のための研修	全県校長	半日 ×3	430
3		嶺南地区県立学 校人権教育担当 者連絡協議会	各学校における人権教育推進のための研修	嶺南の県立学校人 権教育担当者	半日	7
4		教育相談担当者 連絡協議会	県立高等学校における教育相談担 当者が必要な知識と技能を習得し、 各校における教育相談活動の一層の 充実を図るための研修	県立学校の教育相 談担当者	午後 半日 ×2	40
5		主権者教育指導 者研修	時事問題に関する討論型の授業や模 擬議会などの実践的な学習に係る研 修	全県県立学校教員	半日	160
6		教務主任連絡協 議会	教務主任に対して所管事項説明お よび情報交換会	全県立学校教務主 任	半日	50
7		新教育課程説明 会（一般対象）	・新教育課程（新学習指導要領・各 教科）実施に係る説明会	全県県立学校教員 ・講師、私立校希望 者	半日	500
8		新教育課程説明 会（新教頭・教 務主任対象）	・新教育課程（新学習指導要領・総 則等）実施に係る説明会	全県新教頭・新教務 主任	半日	20
9		特別支援学校高 等部新教育教育 課程説明会	特別支援学校高等部に係る教育課 程の伝達講習会	全県 特別支援学校高等 部教員	半日	300
10		通級指導担当教 員研修	「発達障がいアセスメント」や「特 性に応じた学習指導法」の研修	全県 通級指導担当教員	半日	70
11		特別支援学校教 員免許法認定講 習（6講座）	特別支援学校教諭免許状に係る単 位修得のための研修会	全県 教職員希望者	1日	350
12		医療的ケア（特 定行為従事者） 教員研修	医療的ケアを担当する教員研修	関係 特別支援学校教員	1日	30

No	研修名	主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
13	医療的ケア看護師研修	医療的ケアを担当する学校看護師研修	関係特別支援学校看護師	半日	35
14	特別支援教育コーディネーター連絡協議会（特別支援学校）	特別支援教育コーディネーターの連絡会	全県特別支援学校担当教員	半日	50
15	特別支援教育コーディネーター連絡協議会（中・高）	特別支援教育コーディネーターの連絡会	全県中高担当教員	半日	130
16	新入試対応指導研修	予備校講師等による新入試対応問題を踏まえた、生徒の力を適切に評価できる問題を作成する能力の向上等を図る研修	全県教職員（希望者）	・半日 ・国英：半日×2	150
17	いじめ・不登校対策研修会	いじめ・不登校等の対応について	全県小・中学校の校長	半日	300
18	小・中学校地区別人権教育研究協議会（福井・高志地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺北小・中・県立学校の校長	半日	100
19	小・中学校地区別人権教育研究協議会（奥越・坂井・丹南地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺北小・中・県立学校の校長	半日	130
20	小・中学校地区別人権教育研究協議会（嶺南地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺南小・中・県立学校の校長	半日	75
21	教育相談担当教員養成研修	教育相談活動のコーディネーターとなる資質を養成する。教育相談担当の立場にとらわれず、教育活動全体に有効な相談態度・知識・技術の習得を図る。	小・中学校30、40歳代の教員	1日	150
22	第1回スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等研修会	大学教授等の講義およびグループ別協議	SC・SSW・電話相談員等	半日	120
23	第2回スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等研修会	大学教授等の講義およびグループ別協議	SC・SSW・電話相談員等	半日	120
24	スクールカウンセラー担当者連絡協議会	スーパーバイザーの講義および事業の概要説明	SC担当教員	半日	160

No	研修名	主な研修内容	受講者	実施 日数	受講 人数
25	学校花壇講習会	学校花壇を推進するための栽培技術力向上に関する講義および実技研修	全県 教職員	半日	30
26	市町教育委員会・関係機関生徒指導担当指導主事等研修会	不登校の傾向や課題等について分析および研究協議	市町教育委員会・関係機関生徒指導担当指導主事等	半日	15
27	家庭教育支援講座	家庭教育支援	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	300
28	幼小接続講座 「育成すべき資質・能力を培う 保育づくり、授業づくり」	育成すべき資質・能力を培うための 保育・授業づくり	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	300
29	幼小接続講座 「接続を目指した教育課程の作成と園や学校全体での共有のあり方」	カリキュラム・マネジメント	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	300
30	幼小接続講座 「幼児期の学びを踏まえたスタート・カリキュラムの実践」	スタート・カリキュラム	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	300
31	幼小接続講座 「子どもの学びの充実と教育・保育者としての資質・能力の向上に向けた取組」	フォーラム (講座、市町幼児教育アドバイザー・園内リーダー発表 等)	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	500
32	園内リーダー養成研修	・講義 ・グループ協議（事例検討） ・市町幼児教育アドバイザー養成研修受講者企画・運営の研修会等への参加 等	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭	半日	100
33	園内リーダーフォローアップ研修	・講義（フォローアップ研修の進め方、自園の課題について） ・園内研修報告会 等	嶺北 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭	半日	20
			嶺南 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭	半日	20

No	研修名	主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
34	市町幼児教育アドバイザー養成研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義</li> <li>・グループ協議（園内リーダーの事例検討支援）</li> <li>・各市町の研修会等の企画・運営等</li> </ul>	全県 保育士、幼稚園教諭、保育教諭、市町担当課職員（教育委員会・保育担当課）	(12/25) 1日 (その他) 半日	30
35	市町幼児教育アドバイザーフォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義（各市町の課題に即したアドバイザーの役割）</li> <li>・各市町での実践報告</li> </ul>	全県 保育士、幼稚園教諭、保育教諭、市町担当課職員（教育委員会・保育担当課）	半日	10
36	新規採用教員研修（保育教諭）園外研修	講義 ①幼児教育の現状、幼小接続カリキュラム ②認定こども園教育・保育要領 ③気がかりな幼児	全県 保育教諭	半日	50
37	新聞を活用した教育研修会	新聞を活用した授業の改善・充実のための研修	全県 小・中学校教員	半日	約20
38	弦楽指導者講習会	弦楽クラブ・部活動の運営について	全県 小・中・高の推進校の担当教員	半日	30
39	吹奏楽指導者研修会	吹奏楽の合奏指導法に関する研修	全県 中・高校の吹奏楽指導者	半日 ×2	60
40	拠点校指導教員研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点校指導教員の服務および校内研修について情報交換</li> <li>・拠点校指導教員の指導の実際についてグループ研修</li> </ul>	初任者研修 拠点校指導教員	半日	約50
41	令和元年度外国人児童・生徒等教育連絡協議会	外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修(中央研修)の伝達講習	全県 小中教員、指導主事	半日	22
42	外国語指導助手の指導力等向上研修	効果的なティームティーチングに関する講義、演習	全県ALT、小中高教員	1日	150
43	子ども読書指導者研修会	子どもと読書をつなぐ方法とそれに伴う技術を学ぶ研修	全県 図書館司書 小・中教員 司書教諭 学校司書	午後 半日	60
44	生涯学習・文化財課 人権教育指導者研修会	同和問題をはじめとする人権問題に関する講演と体験的参加型学習	国、県、市町、学校、企業、各種団体等における人権教育の指導的立場の者	午後 半日	嶺南 約500 嶺北 約400

No	研修名	主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
45	保健体育課 体育実技指導者 伝達講習会	子供の体力向上指導者養成研修会 (中央研修会)の県内伝達講習会	全県 小・中・高保体教員	半日	100
46	武道(柔道・剣道)指導者養成 講習会	武道経験の少ない体育担当教員、部 活動担当者を対象とした実技講習 会(1級取得)	全県 小・中・高保体教員 部活担当者	2日	20
47	学校体育実技 (柔道・剣道) 認定講習会	武道指導の充実を図るため、実技指 導力の向上を目的とする実技講習会 (段位取得)	全県 小・中・高保体教員 部活担当者	3日	20
48	健康教育指導者 研修会	健康教育委に関する諸課題への取組 みについて研修し、健康教育に携わ る指導者の資質向上を図る	全県 小・中高教員 教育委員会	半日	300
49	防犯教室講習会	教職員の防犯に対する意識向上を図 るための講習会	全県 小・中高教員 教育委員会	半日	300
50	栄養教諭等研修 会	食に関する指導における諸課題への 取組みについて研修し、栄養教諭等 の資質向上を図る。	全県 栄養教諭 学校栄養職員	半日	80
51	特別支援教育 コーディネーター専門研修	学校全体で特別支援教育を推進す るための専門的知識や実践的力量的 向上を図るための研修	全県 特別支援教育コー ディネーターとして の実務経験があり、 今年度特コに指名 されている教職員	2日間 (1日) 3日間 (半日)	5
52	授業研究リー ダー研修	特別支援教育の授業づくりを推進す る研究リーダーとしての専門的知識 や実践的力量的向上を図るための研 修	全県 校内で授業推進を 進める立場の教職 員	2日間 (1日) 3日間 (半日)	5
53	特別支援教育 コーディネーター養成研修 (幼・小・中・ 高)	特別支援教育コーディネーターの基 礎的知識や技能を培うための研修	全県 初めて特別支援教 育コーディネーター に指名された教職 員など	1日間 (1日) 2日間 (半日) +所属 校での 研修企 画運営	60

No	研修名	主な研修内容	受講者	実施日数	受講人数
54	特別支援教育コーディネーター養成研修(特支校)	センター的機能を担う特別支援学校のコーディネーターとしての基礎的知識や技能を、実践を通して培う研修	全県 初めて地域の教育相談を担当する特別支援教育コーディネーターに指名された教職員など	4日間 (1日)	5
55	新任特別支援学級担任教員研修	特別支援学級担任として必要とされる学級経営、学習指導、児童生徒理解等に関する研修	全県 初めて特別支援学級担任となる教員(講師を含む)	1日間 (1日) 4日間 (半日)	80
56	特別支援教育センター 研修講座	No.1 算数のつまづき支援 No.2 高校通級の取組 No.3 特別支援学級・通級指導教室での取組 No.4 ICTを活用した支援(特支校・特学) No.5 校内体制づくり(管理職対象) No.6 就学支援 No.7 思春期・青年期における支援 No.8 福祉と学校・園との連携 No.9 特別支援学校の教材紹介と実践 No.10 視覚障がい理解のための基礎知識 No.11 発達障がいの理解と支援 No.12 保護者支援 No.13 読み書き支援と合理的配慮	全県 教職員 (No.5のみ管理職対象)	13講座	のべ 1,800

## 7 教員の自主的な研究活動への支援（「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現）

- 「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現のために、教員の自主研究活動への支援を強化し、校内での研究活動を活発化

### 自主研究グループ等に対する支援内容

- ・若手教員学習会 補助限度額 10万円（50件）
- ・授業実践研究 補助限度額 30万円（15件）
- ・引き出す教育・楽しむ教育実践  
（先端技術活用研究） 補助限度額 40万円（15件）
- ・引き出す教育・楽しむ教育実践  
（小学校クラブ活動） 補助限度額 5万円（50件）

## 8 主体的な研修受講とキャリア形成の促進

- ・福井県教員育成指標（以下「指標」という。）をもとに、該当するステージに必要な資質・能力を培うために、主体的に研修に取り組み、長期的視野を持ってキャリア形成を行っていく。
- ・指標をもとに、自分のキャリアステージに応じた資質・能力を分析した行動目標を自己評価して、現在の状況を把握するキャリアシートを活用。年間の各自の目標や研修の取組みを計画し、省察しながら自らの資質・能力の向上を図る。
- ・キャリアシートを管理職との面談で活用し、重点的に取り組む資質・能力と研修計画や省察を管理職とともに共有し、一人一人の教員の主体的な取組みへとつなげる。
- ・各教員は研修講座申込システムで個人の研修受講実績履歴を閲覧し、研修計画の立案に役立てたり、ポートフォリオとして受講履歴を確認したりする。
- ・管理職は指標を人材育成のために積極的に活用する。一人一人の教員の資質・能力を育むために、研修受講実績を把握し、キャリアに応じた研修の受講を促進する。

# 福井県教員育成指標

## 福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を発揮し、人生を切り拓くために  
挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、  
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、  
いつでもどこでも社会や地域に貢献する人

## 福井が求める教師像

校種・教科等に関する  
専門的知識・実践的技能  
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、  
自立した社会人としての良識や  
幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、  
地域社会と円滑な人間関係を築き、  
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に  
燃え、常に学び続ける  
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ			第2ステージ			第3ステージ			資質・能力	ステージ	管理職				
			教員としての基盤を固める			中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する			経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする						トップリーダーとして教育活動を推進する			
素養	教育的愛情 使命感	・子どもに対する愛情 ・教職への情熱	・子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 ・教職に対する使命感、誇り、責任感	・学校教育を牽引する使命感、責任感	・組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感							素養	教育的愛情 使命感 責任感	・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力				
	倫理親 人間性 社会性	・高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、サービスの誠実かつ公正な遂行										素養	倫理親 人間性 社会性	・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築			
	コミュニケーション 力	・他者との意思の疎通と協働	・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通											素養	判断力 学び続ける力 探究心	・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ・正確で迅速な情報収集、状況把握、的確な判断を行う力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握		
	学び続ける力 探究心	・学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦	・自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見・解決の努力・省察する力) ・自主的な協働研究への積極的な参画	・専門性の深化とキャリアアップ ・学校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり	・自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言										素養	創造的に思考 する力 コミュニケーション 力	・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力 ・教職員との日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築	
学習指導	教科等の専門性	・教科等を学ぶ意義の理解 ・教科等で培う力の把握	・教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通じた学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究									素養				業務改善 (働き方改革 に向けて)	・教職員の勤務時間の把握 ・勤務時間を意識した教職員の働き方の徹底と職場環境の構築 ・教職員の業務の明確化と外部人材活用、外部業務委託の推進 ・PTAや地域の理解を得るための取組	
	授業力	・教科等の基礎的な指導力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	・教科等の特性や本質の理解 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業 ・主体的・対話的で深い学びへの工夫 ・指導と評価の一体化に基づく実践 ・子どもの学びの見取りの意義と実践 ・ICT機器の積極的な活用やプログラミングに関する学習活動の工夫 ・校内研究への主体的な取組み、積極的な授業公開の実施	・省察をもとにした授業改善 ・教科等の特性や本質の追究 ・多様な授業形態の工夫 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・教科等横断的なカリキュラムデザイン ・校内研究の中核として授業実践を牽引 ・若手教員への授業力を高める指導、助言	・広い視野での授業改善 ・教科等の特性や本質を理解した実践 ・資質・能力を培う授業の提案 ・主体的・対話的で深い学びの深化 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内の中心で示範となる授業実践の推進 ・校内研究の中心として組織を運営 ・学校内外の教職員への指導、助言						素養		組織マネジメント			・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示 ・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力 ・スクールプランを実現する具体的な方策の決定 ・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり ・一人一人の教職員が意欲を持って活動できる機会の構築、適性に合った職務の分掌による組織運営 ・福井型コミュニティ・スクールによる地域と連携した学校づくり ・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり ・特別支援教育のコーディネート力を高め、組織的なインクルーシブ教育の推進		
	福井の教育力を 支える研究・ 連携	・福井の教育の特長の理解 ・「ふるさと福井」を大切に思う心	・子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦もち教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承											素養		教職員理解 人材育成	・教職員の資質・能力や適性の把握と的確な勤務管理 ・目標管理票と面談、報告・連絡・相談を通じた教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導 ・教職員の持ち味や新しいアイデア等の学校運営への活用 ・教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成	
	幼児・児童・ 生徒理解	・子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	・子どもの個性、特性の理解 ・インクルーシブ教育の視点を踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践	・学級および学年全体の子どもの理解 ・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応	・組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営										素養	学校安全 危機管理	・安全な環境での教育活動の展開 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備	
	問題行動への 対応	・個や集団への指導と手立ての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	・子どもの個性、特性に応じた指導、支援 ・子どもの特性を理解した原因分析力 ・学校の生徒指導の方針に対する理解 ・報告・連絡・相談を通じたチームで対応する指導の実践 ・家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働	・チームの中核として子どもへの適切な指導 ・子どもの個性、特性に応じた指導方針を基にチームの中核として集団を牽引 ・若手教員に対する適切な指導、支援 ・家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働	・チームの責任者として教職員に対する指導、助言 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な指導方針の立案 ・チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整 ・速やかな情報の共有と適切な管理 ・家庭や地域、関係機関との連携・協働											素養	財務管理	・学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実 ・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理
	特別な配慮を 要する幼児・ 児童・生徒への 対応	・特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基本的な知識 ・発達障がいに対する知識、理解	・子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の理解、実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	・子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言 ・関係機関と協働した課題の改善、解決												素養	家庭や地域 社会との 連携・折衝
マネジメント・ 人材育成	業務改善 (働き方改革に 向けて)	・効率的な時間管理に対する意識	・自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	・チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践	・チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言 ・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と組織的な実践							素養	福井力の 教育					・「ふるさと福井」への理解 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度
	学年経営 学級経営	・理想とする学級像の形成	・学級目標の達成に向けた子どもたちの協働的な学級づくりの指導 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	・学年のリーダーとして率先して協働的な活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言						素養							
	社会の変化への 対応	・学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	・学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的な実践									素養				
	学校安全 危機管理	・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	・学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	・チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対処 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	・チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員の指導、助言										素養			
	人材育成	・様々な課題に対応する力	・学校内外の自主研究への参画	・若手教員に対する指導、助言	・校内研修、自主研究の企画、運営											素養		
連携 協働	組織における 協働	・仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	・教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	・ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上	・チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築							素養						
	家庭や地域社会 との連携	・地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	・家庭、地域社会、関係機関との連携・協働のネットワークの形成 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築 ・学校内外の諸活動に対する積極的な参画								素養							
福井力の 教育	「ふるさと福井」 の教育	・「ふるさと福井」への理解 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100 人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE教育」など)										素養					

# 令和2年度 福井県の教員研修体系とポイント

参考

福井県教育委員会・福井県教育総合研究所

## 福井県の教員研修体系（集合型・遠隔型・通信型・訪問型研修）

採用前

教員志望者セミナー「福井県で教員になろう」1日（嶺北・嶺南会場）  
・若手教員によるパネルディスカッション、参加者によるグループ協議 等

臨時任用講師研修 6日  
・学習指導、模擬授業、児童・生徒理解 等

内定者研修 3日  
・自己研鑽、個人面接、メールマガジンによる情報提供、勤務予定校訪問 等

第1ステージ

初任者研修 14日（うち4.5日分は通信型または遠隔型研修）  
・児童・生徒の特性に応じた生徒指導、年間を通じた授業実践研究 等  
・**校外研修1日分を遠隔型研修（午後半日2回）に置換えて、移動の負担を軽減**  
・宿泊研修を1.5日開催として、**夏季休業中の研修時間を縮減**  
・**授業名人の授業を参観して、自身の実践的な授業研究に活用**  
・ふるさと教育の充実のため、県内文化施設を巡るスタンプラリーを実施  
・通信型研修のレポートを**オンラインレポートに切替えて効率化**

2日目研修 5日  
・授業実践研究、ポジティブ教育、ボランティア活動 等  
・**校外研修1日分を午後半日2回分に分割して校務への影響を縮小**

3日目研修 3日  
・授業実践研究、ポジティブ教育、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり 等

第2ステージ

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 8日  
・ICT活用、ファシリテーション、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり 等  
・社会体験活動を受講対象時より2年間のうちに実施  
・「教科別研修」は**半日受講を基本として多様な受講ニーズに対応**  
・授業名人授業参観・研究会参加、または **免許状更新講習**

中堅教諭等資質向上研修Ⅱ 3日  
・気がかりな子どもへの支援、変化と発達 等  
・ミドルリーダーとしてOJTを活性化 **免許状更新講習**

第3ステージ

マネジメント研修 2日  
・学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント 等  
・**福井大学教職大学院「学校改革マネジメントコース」1年履修資格を付与**

中堅教諭等資質向上研修Ⅲ 3日  
・学校組織マネジメント、学校運営への関わり方 等 **免許状更新講習**

管理職

新任教頭研修 5日  
・学校管理職マネジメント、気がかりな子どもへのチーム支援、目標管理 等  
・免許状更新講習と連携して、管理職としてのファシリテーション力を活用

新任校長研修 3日  
・学校経営ビジョンの作成、働き方改革・業務改善、危機管理、ポジティブ教育、民間企業の人材育成 等

自主研究活動支援（若手教員学習会）

教育庁各課の研修・教科別研修・自主研究活動支援（引き出す教育・楽しむ教育実践・授業実践研究）

世代間をつなぐクロスセッション・OJTを活用した校内研修・各学校の実践を支援する訪問型研修

## （1）「福井県学校業務改善方針」を踏まえて教員研修を精選・効率化 ※県教委が実施する112研修のうち79(70.5%)で精選

- 教員研修体系を見直してミドルリーダー養成研修を廃止** ・教員生涯の研修受講を2日軽減
- 初任者研修について負担を軽減**
  - ・宿泊を伴う研修の日程を1.5日に短縮
  - ・集合型研修の一部（4.5日分/14日分）を遠隔型研修（研修をライブ配信）や通信型研修（録画した番組を配信）に置換え
  - ・校内研修を精選（週6時間程度、年間180時間程度。教職大学院修了者は年間90時間程度）
- 教育庁各課の研修について精査**
  - ・集合して実施してきた14研修について廃止、文書通知や指導主事訪問時の指導・助言等、各学校で円滑な実践が進むように工夫
  - ・校外研修に係る受講者の移動の負担を軽減するため、教育庁各課の9研修について遠隔型研修や通信型研修に置換え
- 日数・時間等を短縮、複数の研修を統合、悉皆研修を希望制に変更等、57研修について大幅に見直し**
  - ・集合型研修の一部を「遠隔授業・研修システム」を利用して、嶺南教育事務所や各地点校等で受信する遠隔型研修に置換え、校外研修に係る受講者の移動の負担を軽減

## （2）OJTを通じて日常的に学び合う校内研修を充実

- 学校内での研修を充実するために実践型の研修を推進**
  - ・OJTを活用して指導力の向上を図るために、集合型研修を効率化して校内の実践との連携を強化（マネジメント研修）
  - ・集合型研修の受講者に対して受講後の校内での実践を支援するために、研修後、希望者に「遠隔授業・研修システム」を活用して協議や地域ごとの実践交流を実施、受講者のフォローアップを充実
- 学校の様々な課題に対応するために訪問型研修を強化**
  - ・学級経営に関する訪問型研修や、学校の要請に応じた教育相談に係る事例会議等を実施し、教育総合研究所などのチームによる継続的支援を充実
  - ・教育総合研究所と県教委、市町教委が連携して小・中学校を訪問し、優れた教材や指導方法を紹介

## （3）新しい教育課題に対する研修を強化し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

- ICT機器を活用した授業を実践するための研修を充実**
  - ・児童、生徒用のタブレット端末の導入に伴い、より教育効果の高い活用方法を全国の先進事例から学び、学校現場の教員が授業等に生かせるような実践的な研修を実施
  - ・各学校のICT機器を活用した授業づくりを支援するために、教育総合研究所と市町教委が連携して訪問型研修を実施
- 新しい教育課題に対する訪問型研修、通信型研修等を充実**
  - ・新学習指導要領に対応した探究的な学習を導入した授業づくりや学校マネジメント、プログラミング教育、ポジティブ教育等、各学校の課題に即した実践的な研修を充実
  - ・SASAや全国学力調査などの分析結果をもとに授業改善を支援
  - ・新学習指導要領や教育改革に対応した通信型研修の講座を新規に配信し、授業づくりを支援

## （4）教員の自主的な研究活動への支援を充実し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

- 「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現のために教員の自主研究活動への支援を強化**
  - ・若手教員の自主研究活動を活性化するための支援を充実
  - ・ICT機器を活用した授業実践や探究的な学習活動など、新たな教育課題への対応に係る自主研究活動への支援を強化し、各学校や地域での特長ある実践的な取り組みを支援

## （5）福井県教員育成指標をもとに、個々の教員がキャリアを向上できる体制を充実

- 「学び続ける教員」として、主体的なキャリア向上ができるように支援**
  - ・指標をもとに自分のキャリアステージに応じた資質・能力を分析し、主体的な研修の受講につなげるために、自分の現在の到達度が分かるキャリアシートを各自が作成して活用
  - ・自分の研修の受講履歴を「研修講座申込システム」で把握し、キャリアステージに応じた効果的な研修の受講を計画

